

医師の異動（3月）

- 着任（令和8年3月 1日付） すみい あんな 住井 杏捺 腎臓代謝内科専攻医
- 退職（令和8年2月28日付） 長門 久雄 心臓血管外科主任部長

3月16日(月)から WEB 予約システムでの受付を開始します！
～紹介外来や検査の予約にぜひご利用ください～

紹介予約がもっと便利に！ 患者紹介WEB予約システム

24時間365日WEBから紹介予約を申請いただけます。



市立長浜病院 病診予約専用フォーム

<https://www.reservation.form.medigle.jp/nagahama-hp/login>



- 1 ログイン画面で「ユーザー名」「パスワード」を入力します。
- 2 診療科→医師の順で予約枠を選択します。
- 3 希望の日時を選択し、紹介患者さんの情報を入力します。
- 4 完了すると、予約NO. と予約票が発行されます。予約票と予約資料（問診票など）を印刷して患者さんに渡します。

当院は、紹介元である医療機関の皆さまの利便性向上を図るため、WEB 予約システム「メディグル予約」を導入しました。24時間365日ご利用できますので、当院の営業時間外でも予約をお取りいただけます。

ご利用にはアカウント登録（無料）が必要です。以下のURL からご登録ください。

【アカウント登録】 https://medigle.jp/reserve_account.html

医療従事者研修会の開催について

第360回 開放型病床生涯教育研修会

※詳細は別紙チラシをご参照ください。

日時：令和8年4月16日（木）18：30～20：10

会場：北ビワコホテル グラツィエ

テーマ：『彦根・長浜 Heart Care Conference』

【Opening】森上 直樹 先生（森上内科循環器科クリニック 院長）

【講演 1】**演者** 児玉 健二 先生（市立長浜病院） **座長** 上野 義記 先生（長浜赤十字病院）

【講演 2】**演者** 榎本 匡秀 先生（市立長浜病院） **座長** 森上 直樹 先生（森上内科循環器科クリニック）

【特別講演】**演者** 鈴木 友彰 先生（滋賀医科大学） **座長** 高島 弘行 先生（市立長浜病院）

【Closing】中野 顯 先生（彦根市立病院 院長）

感謝の気持ちを込めて ～ボランティアグループのご紹介～

【院内デイケア】『メロディの会』様 音楽の日



たくさんのボランティアさんに支えられて各種の行事を行ってきました。おかげで患者さんが心地よく、笑顔で過ごすことができ、感謝でいっぱいです。一年間、ありがとうございました。

患者総合支援センター

【びょういんの参観日】



【ひのきしの会】様 環境整備



いつも あなたの すぐそばに

市立長浜病院

令和8年3月1日号

No.252

地域医療連携だより

理念
地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
患者総合支援センター 地域医療連携室



救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院
がんゲノム医療連携病院 厚生労働省臨床研修指定病院 地域医療支援病院



謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院の運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。3月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けしますので、ご査収ください。 敬白

心臓血管外科のご紹介

心臓血管外科責任部長 榎本 匡秀

湖北医療圏の皆様には、日頃より多くのご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。2026年は市立長浜病院に心臓血管外科が開設されてから30年の節目にあたります。このたび、心臓血管外科責任部長を拝命いたしました榎本匡秀と申します。私は栃木県足利市で育ち、新潟大学を卒業し、神奈川県内の病院で初期臨床研修を行い、卒後3年目に滋賀医科大学心臓血管外科へ入局しました。その後、附属病院を含め関西の諸施設で研鑽を積み、今年度で卒後15年目を迎えます。



「滋賀医科大学心臓血管外科」式の質の高い医療を市立長浜病院で提供したいと考えていますが、心臓血管外科が扱う疾患の治療は決して一人では完結しません。診断を担う近隣医療機関および当院の医師、病院の窓口となる事務職員、看護師、薬剤師、検査技師、手術と管理を共に行う麻酔科医師、放射線科医師、臨床工学技士、理学療法士、そして外来診療を担う循環器内科医師など、多職種の協力が不可欠です。当院は各部門に優れたスタッフが多く在籍しており、方針を共有することで質の高い医療が実現できると確信しています。今後、特に以下の4点に注力します。

- ① 丁寧な説明…従来の開胸・開腹手術に加え、カテーテル治療も一般的になりました。双方の利点と課題を踏まえ短期・長期の視点から最適な治療を提案します。
- ② 確実な手術…手術は細かな手技の積み重ねです。一つ一つを丁寧に行うことで、結果的に短時間で確実な手術につながると考えています。
- ③ 先を見据えた術後管理…患者さんの背景は多様化しています。退院後の生活を見据え、早期の食事・離床、支援サービスの調整などを多職種と連携して実施します。
- ④ 近隣施設との連携強化…デジタル化が進む一方で、アナログの価値も残ります。地域の先生方と顔の見える関係を築きたいと考えています。2026年4月には、滋賀医科大学心臓血管外科鈴木友彰教授をお招きし、長浜市内で講演会を予定しています。

地域の先生方との連携をより円滑にするため、**心臓血管外科医師へ直接つながるホットライン(090-7498-2534)**を設置しております。24時間365日対応しておりますので、緊急時やお困りの際にはご連絡いただければ幸いです。患者さんに信頼され、スタッフに支えられ、地域の先生方に認めていただける診療科であり続けるため、同僚の松林優児医師らとともに日々研鑽を重ねてまいります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

がんゲノム診療外来からのお知らせ



平素より、当院の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年2月から、がん遺伝子パネル検査の項目に GenMine TOP を追加いたしました。引き続き、検査対象の方がおられましたら、お気軽にご相談ください。

なお、検査結果説明は初回外来から約6週間後となります。結果説明日には検査費用とは別に『がんゲノムプロファイリング評価提供料』を算定しております。そのため、該当日に入院が想定される場合は、早めに当科までご連絡ください(ご本人の退院が困難な場合には、家族診をお願いし、算定分は入院医療機関宛へ請求となる場合があります)。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和7年度 患者総合支援センター活動報告

～患者様への切れ目のない医療提供をめざして～

病診連携グループ 尾崎 千鶴



日頃より数多くの患者様をご紹介いただきまして、ありがとうございます。

令和7年度の紹介患者数は前年度同様12200件程と見込んでいます。診療科によってはご予約の制限をさせていただいており、ご予約が取りにくい状況となっております。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご理解のほどお願い申し上げます。ご予約をスムーズにとっていただけるように、令和8年3月から患者紹介WEB予約システムを導入することとなりました。ご予約の時間短縮にもつながりますので、ぜひご利用ください。また、レスパイト入院に関しても受け入れていますので、ご相談いただければと思います。今後も地域の先生方との連携を密に図り、地域に寄り添えるように、スタッフ一同取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

<受付時間> 月・火・水・金 8時30分～19時
木 8時30分～17時
(休診日を除く)

<紹介方法> 電話・FAX・WEB
※ WEB予約は24時間365日利用可

入院支援グループ 服部 直美



入院支援看護師は、入院決定した時点から患者様やご家族と面談し、病状や入院前生活状況を聞き取ってアセスメントを行い、退院後の生活を見据えて必要な支援が途切れないよう多職種へ情報提供し、サポート介入していくことが役割の1つです。

全科の予定入院をはじめ、日中の緊急入院が決定した患者様の入院～退院後に関する様々な情報を聞き取って支援介入を行っており、今年度は予定入院では7割程度、緊急入院は5割程度の実績となりました。入院が決定したタイミングで介入することで、より十分に情報収集が可能となり、患者様やご家族の気がかりや心配事以外でも、医療者の視点でサポートの必要性を入院前からキャッチできると思っています。検査や周術期の患者様には特に事前のリスク評価を行い、専門的視点で薬剤師や歯科医師、栄養士、理学療法士からの説明や指導を行っています。意思決定の支援や退院阻害因子を早期の段階からアセスメントし、院内だけに留まらず地域医療者へも確実にバトンを繋いでいけるよう体制を整えています。地域からの気になる情報など事前の情報提供もお待ちしております。

退院支援グループ 依田 百代



当院は入退院支援加算1を取得し、入院から退院までの切れ目のない支援が提供できるよう努めています。在院日数の短縮化、高齢世帯の増加、核家族化に伴う介護力・支援力の低下、生活困窮など様々な課題のある中で、支援の必要な患者様にタイミングを逃さず介入していけるよう入院前・入院直後の退院支援スクリーニングを強化しています。入院中は、患者様やご家族の意思決定支援を大切に、多職種と連携しながら、できる限り住み慣れた地域での療養生活が継続できるように退院前訪問や退院後訪問を行い、早期から在宅支援者や地域の関係機関との橋渡しを進め、退院後の課題や不安の軽減に努めています。

令和7年度の退院支援件数は3500件を見込んでいます。

今後も地域との連携を一層深め、患者様の安心・安全な在宅療養生活の支援ができるよう、より良い支援体制の構築に努めてまいります。引き続き、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総合医療相談グループ 河野 真弓



総合医療相談グループでは、患者様やご家族、地域の医療・福祉関係者の方からの病状や治療の中で生じる様々な相談に対応しています。相談内容は、受診相談や医療費、ご意見、問い合わせ等多岐にわたり、内容によっては、専門的な知識や技術をもつ多職種と連携し、支援を行っています。

また、毎週院内関連部署とカンファレンスにて情報共有を行い、改善や支援につなげています。ここ数年、外来患者様に関する相談が増えています。グループ内の在宅療養支援看護師や社会福祉士、外来看護師らと協働しながら、在宅サービスの利用支援や意思決定支援等を行っています。今年度は医療相談4700件、在宅療養支援1800件を上まわる見込みです。

今後も、患者様やご家族に安心して適切な医療や介護をうけていただけるように、地域の医療・福祉関係者のみなさまと連携し、支援させていただきますので、お気軽にご相談ください。

<ご利用方法>

相談日時 月～金(休診日を除く) 8時30分～16時

相談方法 面談・電話・メール

相談窓口 患者相談窓口(本館1階総合案内横)、患者総合支援センター

連絡先 (0749) 68-2300 (代)

産前産後ケアステーション「にじいろ」 岸本 尚子



地域活動としての「パパのための両親教室」は多くのご夫婦に参加いただいています。教室内容は、父親の主体的な育児参加への意識向上と育児参加の内容を更に強化しています。

子ども達への性教育はのべ1800名を超える子ども達に実施しました。その内容は、いのちの大切さや子ども達自身が性暴力から逃げる文化の醸成、自己肯定感を育む等を教育しています。次年度も引き続き、園や学校、保護者と連携してまいります。

産後ケア事業は滋賀県の委託を受け、宿泊型・日帰り型・訪問型を行っています。多くの母親が利用され、育児不安の解決や育児疲労からの回復等に繋がっています。

また、にじいろ相談では、母親が支援を必要とされる時に即時対応できるように努めています。

今後も安心して妊娠、出産、育児ができる地域づくりに貢献してまいります。よろしくお願いいたします。